

交通安全推進協議会（平成 29 年度第 1 回）顛末

日 時 平成 30 年 3 月 22 日（木） 午後 3 時 00 分～4 時 00 分

場 所 市役所 第 3 会議室

出席者 委 員：14 名

事務局：3 名

■ 司会進行～長沢市民生活部長

- ・開催挨拶～市長より・・・大変お忙しい中お集まりいただき感謝。交通安全については日頃職場、地域を通し指導いただいている。昨年は第 10 次交通安全計画を策定し、観光客対策を盛り込んだものになっている。

交通安全については、この協議会参加者のみなさんと情報を共有して対策にあたっていただきたい。

- ・推進会議の議長について、あらかじめ指名する委員ということで、議長を平沢委員に指名し、議事進行にあたる。

■ 議 事 ～進行は平沢委員

平沢議長：議事に沿って皆さんの協力を得ながら進めてまいります。

(1) 平成 29 年富良野市事故統計について

事務局より事故統計資料により概要説明。

事故件数は変化がないが、一歩間違えば大きな事故につながる物損事故が増加している。

富良野市の交通死亡事故では冬型の事故はここ 10 年起きていなかったが、昨年、今年とスリップによる死亡事故が発生している。

事故は 9 月が多く起きている。昼間の時間帯が多く、居住地別では、62.5%の市外の方が富良野で事故を起こしている。通行目的別では、観光、娯楽での事故が 31%を占めている。また、出会いがしら、追突事故が多い。

また、消防署の資料交通事故による救急車出場件数を掲載しているが全体的に増加している。

(警察署 中山交通課長)

死亡事故については、今年 2 月に花園町でスリップによる正面衝突事故が発生している。富良野市内では国道 38 号線では西達布での死亡事故が多い。

富良野市内でも統計外の冬型事故がここ 5 年で 2 件発生しているので、冬道も危険である。

赤平委員 平成 29 年の出場のうち、救助活動が 9 件、7 月 8 月の出場が多い。

富良野市内で限定すると 68 件。今年目立った事故は、外国人が増えている。台湾国籍が 5 名、中国国籍が 6 名、オーストラリアが 1 名。

また、12 月に関しては、吹雪などが多く出場件数も増えた。

平沢議長：それではご説明はこれでよろしいでしょうか？次に (2) の平成 30 年交通安全推進方針について事務局より説明いたします。

(2) 平成30年富良野市交通安全運動推進方針について～事務局より説明。

4期40日の期別運動を中心に、パトライト（赤色回転灯）や市民集会・旗波運動など目に見える取り組みを実施し、地域住民への注意喚起をしていく。

7月13日は飲酒運転の根絶の日が道条例で制定されている。また、富良野市の交通安全条例にも飲酒運転の根絶が明記されているところであり積極的な啓発を行う。

また、富良野市では観光客への交通安全啓発活動も重点的に行うのでご協力をお願いしたい。

平沢議長：ただ今事務局より説明がありました。平成30年度はこれにより安全運動を進めてまいります。よろしいでしょうか。

各委員：了承

(3) 第10次富良野市交通安全運動推進方針について

昨年、皆様のご居力により策定した第10次の計画にもとづき交通安全運動を進めていくが、観光客に対する啓発と、飲酒運転の根絶について積極的に進めていきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。

平沢議長：この件について何かございますが。またこのようなことでよろしいでしょうか。

各委員：質問なし。

議長：各団体の皆さんの方から新年度に向けての取り組みなどについて、発言をお願いしたい。

野呂委員：死亡事故の多くは正面衝突が多い、道路管理者のみなさんのご協力を得ながら対策を進めていきたい。道内ではすでに30名が亡くなっている。昨年が統計史上最低だったが、増えている。また、富良野地区で高速での事故で3名が亡くなっている。これ以上増やさないということで取組みを勧めたい。

今年はレンタカー事業者の啓発も進めていく。

最後をお願いだが、高齢歩行者の死亡事故が多いが、夜光反射材の着用をなんとか増やしたい。もう一つは飲酒運転の抑止。実は飲酒の単独事故はなくなっていないので協力をお願いしたい。

また、ドライブレコーダーの装着もお願いしたい。自分だけでなく、他の事故の証拠にもなる。

田原委員：国道での事故が多いが、三の山峠には今年、分離帯が完成する。最近道路の凍結、融解により道路に穴が目立っている。情報があればお願いしたい。

近内委員：教育委員会では通学路交通安全プログラムを策定した。通学路の一斉点検を行っており、児童の交通安全の確保を図っていきたい。

飲酒運転の関係では、2月に高校の先生が飲酒運転で検挙されたことを受け、校長会のなかで改めて飲酒運転根絶について指導した。また、教師には誓約書を書いてもらうこととしている。

赤平委員：救急通報で一番困るのが、場所が分からないこと。みなさんスマホを使っていると、経緯度を表示する機能があるので、それを伝えていただければ場所が分かるようになっている。

特に多かったのが、ナビで示された林道での事故が多く困った。

山口委員：山部交通安全協会では新入学期の早朝立哨を行うこととしている。また今年には特別運動ということで飲酒運転根絶活動を花見の時期に行う予定。またバイクの日には太陽の里でライダーに啓発する予定。12月に飲食店。コンビニに訪問し啓発する予定。

坂口委員：指導員会では、新入学時の交通安全運動、貴別交通安全運動機関に夜間立哨を行う。また、地域ごとに事業を行う。

富良野地区では4月初めに飲酒運転根絶活動を行う。またパークゴルフ場への安全旗取付、自転車の無料点検、イベント時の交通安全確保対策、パンフレットの配布、高齢者への反射材貼付け事業も行っている。富良野地区では年間97回、麓郷は22回、東山は20回、山部は37回出動している。

忍穂代理：事業主会では昨年同様、交通安全グッズの提供を行っていききたい。

一戸委員：企業の安全運転管理者としては、昨年1件も富良野地区で事故を起こしていない。今年もゼロを目標に頑張っていく。また、今年には飲酒運転根絶の旗を作って啓発を行いたい。

跡部委員：連合町内会長としては西町で取り締まりをやっていただいているが、効果はある。今年もお願いしたい。

長田委員：子供はスクールバスでの通学なので心配はない。高齢者は増えているのでこちらを重点に啓発する。コミュニティーカーの利用促進で飲酒運転は根絶できるかなと思っている。

有澤委員：老人クラブとして安全教室を行っている。また、通学時間帯の旗波を7月に行っている。被害にあうのは高齢者ということもあり、集会のたびに啓蒙をしている。

吉田委員：市道の部分では今年、かなり特異な気象状況であり、大変な状況だった。排雪も行っていたが、寒波により、道路に穴が開くなど、箇所数が多く安全運転の啓蒙の必要がある。

今年は雪が多く排雪もやっているが皆さんに迷惑をかけている。宅内、駐車場の雪を道路に捨ててしまう状況も見受けられるため啓発を行っていく。

田澤委員：みなさんの意見を生かして、交通安全が図られればと思います。

平沢議長：富良野市の交通安全協議会では4月5日に新入学児にカバンを配布する。ラ

イオンズでも黄色い帽子を贈呈する。週末の6日には市内の税務署、料飲店組合など各団体の協力を得て飲酒運転根絶パトロールを行う予定。

4月10日には交通防犯運動市民大会が開催されるのでご参加をお願いしたい。

平沢議長：それではほかにありませんか。

有澤委員：国道など幹線では気にならないが、交差点の雪が山盛りになっている。なにかならないか。

吉田委員：市では雪を置いていない。宅内などからの雪を置いている状況であるので、危険な箇所については排雪をしているが、交差点が多いのでそうっていない状況である。

平沢議長：それではそれぞれの立場でご活躍をお願いし、議長を退任します。

事務局：以上で富良野市交通安全協議会を閉会させていただきます。